

CBDCA+PAC (分割)併用療法

カルボプラチン AUC 5 day1
 パクリタキセル 90mg/m2 day1, 8

適応: 非小細胞肺癌

審査日: 2019年 10月 22日

承認日: 2019年 10月 22日

催吐リスク:

MEC

血管外漏出リスク:

壊死性

1サイクル期間:

21日間

Rp	時間	薬剤	投与方法	投与時間	day1	day2	day3	day4	day5	day6	day7	day8	~	day21
①	プライミング用	生理食塩水50ml	点滴静注		●							●		
②	9:00	イメンドカプセル125mg 1Cap	内服		●									
③	10:00	ナゼアOD錠0.1mg 1錠	内服		●							●		
④	10:00~10:30	生理食塩水100ml+デキサート3.3mg+ガスター20mg	点滴静注	30分	●									
⑤	10:00~10:30	生理食塩水100ml+デキサート6.6mg+ガスター20mg	点滴静注	30分								●		
⑥	10:00	レスタミン錠10mg 5錠	内服		●							●		
⑦	10:30~11:00	生理食塩水100ml	点滴静注	30分	●							●		
⑧	11:00~12:00	生理食塩水250ml+パクリタキセル	点滴静注	60分	●							●		
⑨	12:00~13:00	5%ブドウ糖液250ml+カルボプラチン(合計250ml)	点滴静注	60分	●									
⑩	フラッシュ用	生理食塩水50ml	点滴静注		●							●		
⑪	9:00	イメンドカプセル80mg 1Cap	内服			●	●							
⑫	9:00	デカドロン錠4mg 1錠	内服			●	●	●						

プレメディケーション	パクリタキセル投与30分前までに生理食塩水100ml+デキサート6.6mg+ファモチジン20mgおよびレスタミン錠10mg5錠の投与を行う
ポストメディケーション	投与翌日から経口にてデキサメタゾン4mgを3日間継続。
投与・調整時に注意する点	調製後のパクリタキセルが結晶として析出する可能性があるため、投与時には、0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。また、PVCフリーの輸液セットを使用すること。パクリタキセル投与時は、表面張力の低下により1滴あたりの大きさが小さくなるため、滴下速度の調整が必要。

【根拠となる論文】

J Clin Oncol. 2008;26(3):468-73. Belani CP, et al; Randomized, phase III study of weekly paclitaxel in combination with carboplatin versus standard every-3-weeks administration of carboplatin and paclitaxel for patients with previously untreated advanced non-small-cell lung cancer.